

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2021年 10月



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpine Federation

2021年 10月 1日発行 通巻342

秋山・真盛り 道迷い 転倒に要注意
コロナ対策も万全に

10月号目次

・ 目 次	2
・ 9月理事会報告	3
・ オンライン講演会スタート	6
・ 事故防止交流集会案内	7
・ 山行報告 富士山	8
・ 県連自然保護活動について（2）	10
・ 10月・11月予定表	12

表 紙 説 明

今月号は、山行報告も少なく、表紙の写真也没有せん。
仕方なく、房総に住んでいる古い友人からパクリました。

2021 年 9 月 16 日 千葉県連理事会報告

- ・ **実施日時** 2021 年 9 月 16 日（木）19:00～21:00 ZOOM 会議
- ・ **出席者**
 - ・ 理事 新津（まつど遠足クラブ 1 年さくら組）、渡邊（松戸山の会）、吉武（かがりび山の会）、羽鳥（東葛山の会）、今井（茂原道標山の会）、加藤（ちば山の会）、永田（君津ケルン山の会）、佐藤（山の会らんたん）
荒井（山の会岳樺クラブ）、海瀬（千葉こまくさ HC）、深草（岳人あびこ）
 - ・ 役員 広木会長、野田理事長、鶴田副理事長、伊東教育遭難対策委員長、
菅井自然保護委員長、安彦海外委員長、田中ハイキング委員長
山本全国連理事
- ・ **司会**：野田、**書記**：田中
- ・ **打合せ内容**
 1. 理事長挨拶
緊急事態宣言 9 月で解除予定。今後来年 3 月の総会に向けて準備を始めます。
 2. 各委員会報告
 - 1) 役員会（広木会長）
 - ・ 役員会を 6 日実施した。
 - ・ 3 月総会は 5 日（土）か 6 日（日）に予定している。
資料の内容は 1 月の役員会で詰めます。会場が使用出来ない場合も想定して進める。議案書、資料の簡素化を行いデータで配布し、各会で印刷して下さい。
 - 2) 教育遭対委員会（伊東）
 - ・ 8 月の事故報告なし
 - ・ 11/6 事故防止交流会を「千葉市健康支援センター」で行う。
 - ・ 千葉ニュース 9 月号で案内済です。
 - 3) 自然保護委員会（菅井）
 - ・ 関東ブロック自然保護交流会はコロナ禍を考慮して中止する。
 - ・ クリーンハイクの実績があれば報告願います。
岳人あびこ：手賀沼クリーンハイク 10/17、こまくさ HC：花見川付近を 11 月に実施予定
 - 4) ハイキング委員会（田中）
 - ・ ワクチンを打ったら委員会を再開出来ると思っていたが、ウイズコロナの時代になり ZOOM 会議の実施を模索している。
 - 5) 組織委員会（野田）
 - ・ 2 年毎に行う各会の状況調査（資料配布済）を 11 月末に提出をお願いします。
 - ・ コロナが山行活動への影響調査（12 月末迄実績）の提出をお願いします。
昨年までのデーター・グラフ説明があった。（パソコン画面で資料説明）
 - 6) 女性委員会（広木）

特に活動は出来なかった。ZOOM会議準備を進めている。

7) 海外委員会（安彦）

- ・ 9 月 ZOOM 会議を実施

「高所順応」オンライン講演会を準備したが、現状では「コロナ関係」の講演会が有効と判断して年内に 4 回開催する。第 1 回は 9/30：19:00 より

8) 機関誌委員会（広木）

- ・ 会員と県連をつなぐ機関誌野ために誌面を検討する。
- ・ 会の紹介、活動情報、私の一名山等を検討する。

3. 全国連盟・組織部より ZOOM 講演会の案内が来ている。（安彦）

9/29（第 6 回、7 回）、10/8（第 8 回）、10/26（第 9 回）参加して下さい。

4. 各会理事からの活動状況報告

1) ふわく H.C（田中）

個人山行のみ、新しい人が 2 名入会した。コロナが収まりかけたらフォローしたいと思っている。

2) 茂原道標山の会（今井）

山岳部（テント泊）・ハイキング部（山小屋利用）がある。どちらに参加してもかまわないが、参加者はだいたい固定されている

3) 松戸山の会（渡邊）

例会の開催が出来ない。個人山行の実施状況、7 月 17 件、8 月 12 件、コロナ禍で約半減になった。退会者数名あり。

会の役員が中々決まらない（どうしたらよいか教えてください）

4) まつど遠足クラブ 1 年さくら組（新津）

例会 7 月 ZOOM で 8 月は顔を会わせて行った

個人山行のみ、今度の会山行は車で行きます

5) 山の会らんたん（佐藤）

志賀高原山行、宿コロナ割引があつて大変よかった

6) 岳人あびこ（深草）

創立 25 周年を向かえ、茨城県の山 37 座を分担して登ります。

2 年毎の会報を「やまなみ」発行した。県連に提出します。

県連で実施する ZOOM 立ち上げを支援した。

個人山行についても実態把握をお願いします。（野田）

事故対策基金の対象の質問あり。

5. 全国連からの報告（山本）

- ・ 会員の拡大・・・増加している会にアンケート送り情報を集めている。
- ・ 青森県 登山学校 30 名募集の所 60 名の応募があつた
- ・ 県連組織委員会のアンケート結果を全国連に情報提供してほしい。
- ・ 全国連総会に参加する女性を増やして行きたい。

6. 来年度総会のスケジュールを説明した。（野田）

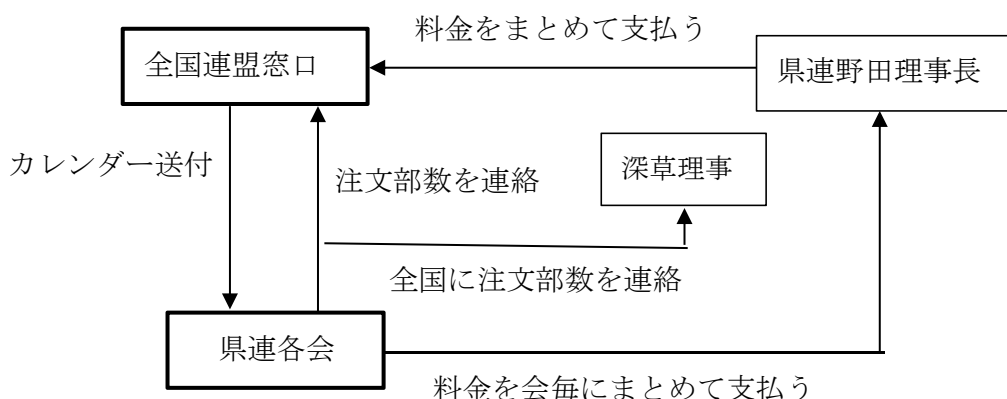
- ・ 詳細は役員会で検討を加えて、後日連絡をします。
- ・ 総会議案書の討議、意見等の集約に積極的に参加して下さい。

- ・総会役員（会計監査・議長・書記等）選出に協力をお願いします。

7. その他

- 1) 労山山岳事故対策基金「交付申請書類確認書」の署名担当を変更します。
 今後は、野田理事長が担当します。
- 2) 2019年 台風15号や雨台風の被災復旧作業を、県内の山岳団体と協力して実施することになったが、コロナ禍の影響で実施出来ない状況である。
 個人や同好会が高宕山、鋸山、三舟山等で復旧作業に取り組んでいる。
 その他にも復旧作業の気配を沢山感じました。「なるべく目立たぬ」ようにとか、会って話してもある共通の基本があるようです。
 私達は道具を使って倒木の処理や、危険個所にトラロープだけでも約260mを張る事が出来た。復旧作業現場で見応えのある二輪草の群生を楽しんでいただきたいと思っている。（田中）
- 3) 県連でオンライン講習会（ZOOM）を実施する。（安彦）
 毎回30人程度の参加を予想しているが100人までは参加可能です。
 各会よりの参加をお願いします。
 第1回9/30、第2回10/28 他の行事や講習会と重ならないようにしました。
- 4) 全国カレンダーの申し込みについての質問（深草）への回答。
 - ・カレンダーは各会で全国連に注文する。その情報を県連にも連絡する。
 - ・県連の取りまとめ（窓口）は、今年は深草理事（岳人あびこ）が担当する。
 - ・料金の集金は、今年は野田理事長が担当する。詳細は後日連絡します。
 - ・注文は、所定の書式にて各会でまとめて全国連にメール注文する。（11月末頃までに）

・概略説明図



- 5) パソコンの迷惑メールに関する情報交換があった。

以上

『県連オンライン講演会』いよいよスタート！

安彦秀夫（東葛山の会）

昨年 2020 年に続いて今年 2021 年も、コロナ禍ということで、恒例の海外登山を企画できないでいます。それで、海外委員会で『高所登山』関連のオンライン講演会を企画してみてもはどうだろうか…ということになりました。

『マウンテンゴリラ』として知名度抜群の安村淳先生に相談をしたところ、快く引き受けていただくことになりました。

相談をする中で、コロナ禍の山行などに付いても話題になり、是非とも取り上げたいと考え、『コロナ』関連を 2 回、そして当初の目的の『高所登山』関連を 2 回、合計 4 回を今年 2021 年内に開催することとし、タイミングも重要と考え、急遽 9 月中に『コロナ禍の山行』と題して第 1 回目を開催する方向で具体化することにしました。

上記の経緯と今後の予定などを、9 月 6 日（月）の役員会に提案し、実施することが承認されました。但し、講演内容から考えて、海外委員会ではなく、千葉県連が主催したほうが好ましいと考え実行委員会を立ち上げました。続いて、9 日（木）の海外委員会でも説明をして了承してもらいました。

実行委員会とは名ばかりで、実務を私が担い、安村先生と廣木会長に相談をしながら、必要に応じて他の役員・理事からも意見等も募る…という形で進めてきました。

初めての試みですので、どの様なことになるのか…は全く想像できませんが、多くの会員の皆さんに参加いただき、感想・意見・批評・提言などもいただき、より良い講演会にし、今後の他の活動にも反映（展開）できれば…と願っています。

パソコンがあれば、事前に Zoom をインストールしておく必要もなく、配信されるメールの『URL』をクリックするだけで自宅に居ながら参加できます。是非参加してみてください。



<2021 年 6 月 17 日（木）県連理事会>

講演会（講師：安村淳 氏）の予定は、次の通りです（全 4 回）。

第 1 回：『コロナ禍の山行』 9 月 30 日（木）（実施報告は 11 月号で）

第 2 回：『アフターコロナの山行の為に』 10 月 28 日（木）（予定）

☞ 体力面を中心とした基本的な内容を予定しています。

第 3 回：（仮）高山病ってなあに？ 11 月 25 日（木）（予定）

第 4 回：（仮）高所順応ってなあに？ 12 月 23 日（木）（予定）

➡ 時間は、いずれも 19：00～20：30 の 1 時間 30 分です。

10 月中旬になりましたら、第 2 回の開催案内と参加申込書を理事や会代表者経由にて配信します。（2021/9/26/Sun.）

2021 事故防止・経験交流集会の案内

千葉県勤労者山岳連盟・教育遭難対策委員会

今年も事故の共有化・再発防止と各会交流を趣旨に開催します。
今回は、千葉市内の公民会で日帰りで実施し、参加しやすくしましたので、各会の積極的な参加を期待します。
詳細は下記を参照下さい。

記

- 1) 主催 千葉県連盟・教育遭難対策委員会
- 2) 日時 11月6日(土) 10時～16時30分(9時30分より受付)
- 3) 場所 千葉市幕張勤労市民プラザ 多目的ホール
JR 海浜幕張駅より徒歩 13 分
* 館内で食事はできません。
- 4) 内容
 - (1)事故報告
今年度発生 of 事故報告
 - (2)転倒事故防止対策
過去 32 件の転倒事故の分析と対策
 - (3)事例研究
事事故事例のビデオ視聴とグループ・ディスカッション
 - (4)長野県山岳総合センターの講演ビデオ視聴
「山のグレーディングと登山体力セルフチェック」
自分の力量に合った山を選んで登ることを学習
 - (5)フリーディスカッション
希望するテーマ(ハイキング、クライミング、雪山など)のグループに参加し
自由な意見交換による情報交流
- 5) 参加申込／締切
別途配布の参加申し込みフォームにて 会で一括申請
教育遭対委員会 伊東: itou2385@yahoo.co.jp 090-1774-3384 **10/22 締切**
参加者は 40 名程度(スタッフ含む)を予定しており、申込多数の場合は、調整する事が有ります。
また、当日はマスク着用、手洗い・手消毒を徹底して実施します。

山行報告・富士山（富士吉田口）

【日時】 7/25(日) 晴

【山城】 富士山

【参加者】 CL H 他2名

【行程】

- ・ 24 日(前日) 千葉 10:00－富士シャトルバス
駐車場－奥庭荘(泊)
- ・ 25 日 五合目 6:00－13:30 吉田口山頂
14:00－17:10 五合目 17:45－18:15 シャト
ルバス駐車 18:30－18:45 民宿

【報告】

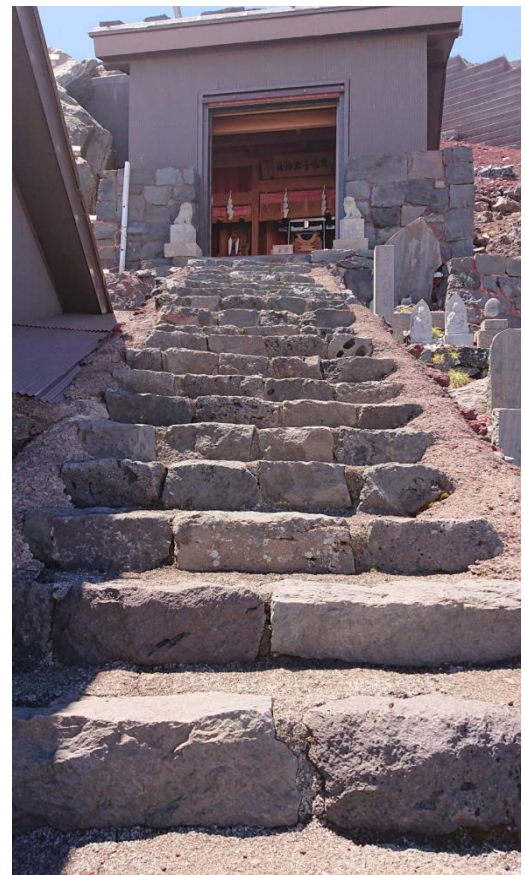
去年は、コロナの対応を迫られ登山が禁止になりました。富士登山までもがという驚きでした。二年ぶりの富士山、久しぶりの夕日に染まった静かな「赤富士」は、下界の人間社会の混沌から超絶しているように感じました。しかし、実際、山に取り付く登山者の多くがマスク姿です。頂上の山小屋の中もプラスチックで仕切られています。いつも以上に明るい若者スタッフには救われました。ここ数日は登山者が少し回復したようでしたが、観光客は明らかに減っています。

前日 10 時千葉を出発し、湾岸道路から大井のトンネルを抜け中央道に入ります。始まったオリンピック車線規制の影響もなく富士シャトルバス駐車場に入りました。

いつものように、いわゆるご来光登山ではなく、前日は5合目の小屋に泊り、早朝の吉田口を出発し頂上を目指します。その日の下山です。登山のポイントは前日の高所順応と考えています。

2年前と比較すると、やはり登山者も少なめで静かな登山風景がありました。しかし高度が上がるにつれ歩行速度が落ち登山者の熱気のようなものがいつもの様に感じられます。

①6合目から7合目、②7合目から本8合目、③本8合目から頂上まで、私は5合目から登る際、およそこの三つの区間を意識して登ります。



7合目半付近に出来た新しい神社

山小屋の間隔が開いている①をスムーズに登れば登頂を目指せます。②は山小屋が密集しています。本8合目は3400です。踏ん張りどころです。③比較的ジグザグがなく一つ目の鳥居が見えてきたら間も無く頂上です。あとは勢いです。



富士山頂火口 剣ヶ峰を望む

剣ヶ峰へは、体調と下山時間を考えて判断します。今回、体力の衰えや7合目あたりでテレビ局の取材に調子よく対応したりして登頂予定時間が大幅に遅れ、剣ヶ峰には向かいませんでした。頂上の山小屋スタッフの若者が明るかったと言いましたが、ゆったり丁寧に出迎えてくれたのが嬉しかったですね。言葉遣いなどマニュアルで動いている若者と違いました。

いつものように下山は登り以上にきつくジグザグの多さに参りました。当会の若い会員は容易だと思いますが、一言疲れました。下山して登頂した余韻に浸るには時間を要しました。計画書に記載はしませんでした、下山後河口湖の民宿に泊まって千葉に帰りました。

直接登山と関係ありませんが、早朝の目の前の美しい富士と洗練された草花の植物園、少しオーバかもしれませんが現代の桃源郷と言ったところでしょうか、偶然に立ち寄ることができました。

ちば山の会 寺崎 真理

労山の自然保護活動について

元千葉県連自然保護委員長 鵜沢 喜久雄
(ふわくハイキングサークル)

千葉県連の自然保護の先頭に立って来た「鵜沢 喜久雄」氏の、房総の自然保護
労山のクリーンハイクへの思いをお伝えします。
この機会に、自然保護活動・クリーンハイクについて考えていただきたいと思います。

「清掃活動は労山ならではの“光る歴史”」

労山は趣意書に“豊かな自然は国民の共有財産”“これを守り育てていくことは登山者の重要な責務”と規定し、結成当初から自然保護を前面に据えてきた。

この労山の特長ある活動は“山からゴミをなくすこと”と“登山者のモラル”として“山を汚さず山に負担をかけないこと”の登山活動を提唱し登山実践者として続けてきた。この考え方は、労山自身だけでなく他の山岳団体にも影響を与えてきた。時が過ぎてヒマラヤの清掃活動や富士山周辺の清掃活動へと定着し、実を結んできた。

全国的に取り組んできた清掃登山・クリーンハイクの日を、労山結成の原点を確認する機会とし、40年の実績を評価し、その歴史を意識的に確認し位置付ける日とすることを特別に重視したい。

「清掃登山・クリーンハイクは、自然破壊にストップをかける力に」

千葉県連は再来年に迎える50周年に向けた県連の歴史を検証する作業で、自然保護活動が特筆されている。それは県連の自然保護活動に二つの大きな勝利があったからだ。

一つは小櫃川上流の七里川溪谷にダムが計画され、その追原くおっばら>ダムの建設中止を勝ち取ったこと。もう一つは鹿野山にある鬼泪山くきなだやま>の山砂採掘の再開発をストップしたこと。

房総半島の成り立ちは堆積土が隆起してできた火山のない県。最高峰が408mと日本一低い。それだけに山を歩いても溪谷を遡っても、どこもやわらかく優しい。千葉のフィールドは“壊れやすい”自然、労山結成から提唱されてきた“山と自然を壊さない登山活動”は千葉にぴったりだった。房総半島の三方が海に囲まれていて気象は温暖、山頂からは海が眺められる。降雨量の多い南房総の山の照葉樹の森とシダの下に刻まれた溪は苔に覆われた滝を落とす。都心から短時間で山に取り付くことができ、一年中いつでも歩ける四季折々の自然を提供してくれている。それだけに高度成長期には、ゴルフ場造成やダム造りの計画が目白押しだった。山地から採れる山砂は良質な建材として羽田空港や地下鉄工事で重宝がられ、いくつもの山が姿を消していった。

これらの乱開発に立ち向かったのが千葉県連だった。私たちは開発計画の場所を知ることから始め、現地調査からスタートした。場所を訪ね、そこが自然豊かなこと、景観の良さや里人とのつながり、貴重な動植物を知れば“守ろう”という気風が起きる。この現地調査の起爆剤が清掃登山・クリーンハイクだった。

当初、乱開発の現地調査に行こうと発案しても、山登りが忙しい現役会員は参加しない。ところが清掃登山・クリーンハイクと連動した計画を企画したことで、これが現地調査となり数倍の参加者を得た。乱開発防止は一部の会員に任せておけばいいという考えだった人たちも、清掃活動となれば会を上げて参加したのだ。

追原ダム計画の時は、現地のJR久留里線亀山駅が人で埋まった。ここは終点の無人駅で普段はほとんど人に会わない。駅前に集まった人たちを見て「今日は何だ」となり、追原ダムの調査が話題となって広まっていった。清掃活動として七里川溪谷添いのゴミ拾いも行い、地元からは好意を持って見られるようになった。

この清掃活動を繰り返すうちに、七里川溪谷のすばらしさと追原にある巨大な楓の存在を知ることになり、ここをダムの底に沈めてはいけないという世論作りに役立った。ゴミ拾いと川原歩き、川原での昼食会の江川節雄・全国自然保護委員長（当時）の「川を守ることの意義と運動の輪を広げることが成功のカギ」という講演内容は役立った。

鹿野山・鬼泪山の山砂採掘の時も現地調査と清掃活動を結び、伝説の山と檜林の美しさ、湧き水の関連を学んだ。この活動で署名が広がり、地元の運動と共同が強まり、県連にも「鬼泪山を守る山人の会」が結成された。

「更に永く大きく継続させるために」

有名な登山コースからはゴミがなくなった。しかし、登山道から外れた谷間や山里に近いところには不法投棄がある。有害な化学ゴミや家電製品も見られる。だから私たちは清掃活動をやめるわけにはいかない。

清掃場所の設定やコース設定に一工夫加えるときだろう。更にいま以上に関係自治体や関連団体と手を結び、住民ぐるみの運動を広げるときではないだろうか。使い捨ての世相にストップをかけ、エコ生活をめざす人を増やすときだ。

この運動を更に広げることが、未組織登山者を清掃活動を介して労山の結集することにつながるだろう。苦しい中から山頂に立った充実感と山地でのゴミ拾い後の清々しさは、経験した者でなければ味わえない思いだからだ。

6月の全国統一清掃活動と8月の“山の日”を労山の伝統を振り返り、結成時の趣意書を学ぶ日となるように期待したい。



・七里川クリーンハイク

（1998年6月）

千葉県連の自然保護活動の原点である「追原ダム建設阻止活動」で語り継がれている「七里川クリーンハイク」のワンシーンです。

当日は会員に加えて、地元住民等、300名が参加した。

鉢巻の後ろ姿は
鵜沢喜久雄氏です。



・鬼泪山を山砂採取から 守る運動

富津市の生活用水の36%を無くし、地元の歴史的遺産等を根こそぎ無くす、鬼泪山の山砂採取から守る活動は、地元住との協力で阻止出来ました。

しかし、いつまた山砂採取計画が起きるかもしれません。自然を守る運動は、継続してこそ成果があると思います。

県連予定表

11月			10月		
日付	曜日	県連行事予定	日付	曜日	県連行事予定
1	月		1	金	
2	火		2	土	
3	水	文化の日	3	日	
4	木		4	月	役員会 19時～ZOOM会議
5	金		5	火	
6	土	事故防止・経験交流集会 幕張勤労市民プラザ	6	水	
7	日		7	木	女性委員会 19時 ZOOM会議
8	月	役員会 県連事務所	8	金	
9	火		9	土	
10	水		10	日	
11	木		11	月	
12	金		12	火	
13	土		13	水	
14	日		14	木	
15	月		15	金	
16	火		16	土	
17	水		17	日	
18	木	理事会 西部公民館	18	月	
19	金		19	火	
20	土		20	水	
21	日		21	木	理事会 19時～ ZOOM会議
22	月	教遭委員会 19時30分～ 県連事務所	22	金	
23	火	勤労感謝の日	23	土	
24	水		24	日	
25	木	県連 第3回ZOOM講演会 19時	25	月	教遭委員会 19時30分～ 県連事務所
26	金		26	火	
27	土		27	水	
28	日		28	木	県連 第2回ZOOM講演会 19時
29	月		29	金	
30	火		30	土	
			31	日	

事故発生時の連絡先

●事故一報は事故発生後一か月以内に！

●全国連盟と県連教育遭難対策委員会の両方にメールまたはファクスで！

全国連盟事務局

メール： jwaf@jwaf.jp

ファクス： 03-3235-4324

県連教育遭難委員会

メール： itou2385@yahoo.co.jp（伊東）

メールのみとします

連盟費の振込先はこちら！

郵便振替口座 00160-3-481509

千葉県勤労者山岳連盟

（ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号0481509）

発行者： 千葉県勤労者山岳連盟

発行責任者： 広木国昭

住所： 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18 レジデンス幕張台 101号室

電話： 043-306-1190

E-mail： rousanchiba@grape.plala.or.jp

HP： https://www.cwaf.jp